

# 平成 28 年度事業実施状況報告

## I 実施事業

### 1. 機関誌「林業新知識」の配布

- 1) 会員は 47 都道府県協会であるが、その会員である構成員は前年度より約 1 %減少し、22,188 名となった。
- 2) 機関誌「林業新知識」を都道府県協会と連携して、構成員等に配付した。

### 2. 研修・表彰事業

#### 1) 全国林業普及研修大会の開催

全国林業普及指導職員協議会（以下「全普職」という。）及び全国林業研究グループ連絡協議会（以下「全林研」という。）との共催により、平成 28 年 12 月 1 日、東京都内において開催した。林業普及指導員、林業研究グループ会員、都道府県普及協会関係者など全国から約 140 名の参加を得て、来賓として自民党の「普及事業推進議員懇談会」の宮腰光寛会長、宮下一郎事務局局長及び林野庁関係者に出席いただいた。大会においては、森林・林業の置かれている現状、課題等についての認識を深めるための有識者の講演、林業普及指導員及び林業研究グループの優良活動事例の発表等を行うとともに、林業普及指導事業の重要性、予算の確保等について引続き外部の理解の促進を図ることを確認した。

#### 2) 第 51 回林業関係広報コンクールの実施

広報部門 15 点、ホームページ部門 16 点の応募者の中から、最優秀賞（林野庁長官賞）各 1 点、優秀賞（本会会長賞、全国森林組合連合会会長賞）各 2 点及び奨励賞各 2 点を審査委員会において選定した。平成 29 年度の本会総会において表彰。

#### 3) 林業普及指導員永年勤続者表彰の実施

15 年以上の永年勤続者 44 名に対し、平成 28 年度の総会において、感謝状及び記念品を贈呈した。

#### 4) その他

公益社団法人大日本山林会主催の第 55 回農林水産祭参加全国林業経営推

奨行事に協賛団体として運営に参画した。また、都道府県、団体等が実施するコンクール、表彰行事等について、審査への参画、受賞者への賞の授与、記念品の贈答等を行った。

### 3. 普及活動等推進事業

1) 全林研が行う林業グループの育成、自主的活動の促進等のための林野庁補助事業への支援等を行った。

ア 全国林業後継者大会の開催（長野県）平成28年6月4日

イ 全国林業グループコンクールの開催（東京都）平成29年2月27日

ウ 地域林業グループコンクールの開催 全国6ブロック（青森、栃木、石川、大阪、高知、長崎）

エ 全国林業後継者（リーダー）研修会の開催（東京都）平成28年10月17～19日

オ はつらつ林業女性交流会の開催（東京都）平成29年2月1・2日

カ 児童・生徒の林業就業促進支援の実施

2) 一般社団法人林業人材育成支援普及センターによる林野庁委託事業「森林総合監理士等育成対策事業」の実施について、本会職員を同センターに出向させるなどにより協力した。

3) 全国森林組合連合会の「能力評価システム導入支援事業」（林野庁補助事業）の一部を本会が受託し、専門家の協力を得て実施した。

4) 東京電力福島第一原子力発電所事故により避難指示解除準備区域等に指定された地域における今後の森林整備に向けた普及啓発事業（林野庁委託事業）を福島県、森林総合研究所等の協力を得て実施した。

5) 違法伐採防止に向けた「合法木材利用促進事業」（林野庁補助事業）を（一社）全国木材組合連合会と共同して実施した。

### 4. 出版・展示事業

1) 普及図書出版

ア 「林業新知識」を構成員以外に販売した。

イ 「現代林業」を毎月 6,600部発行した。

ウ 林業改良普及双書を次の3種類発行した。

①No. 184 「主伐時代に備える－皆伐施業ガイドラインから再造林まで」

②No. 185 「「定着する人材」育成手法の研究－林業大学校の地域型教育モデル」

③No. 186 「椎野先生の「林業ロジスティクスゼミ」ロジスティクスから考える林業サプライチェーン構築」

エ 次の単行本を刊行した。

① 「林業現場人 道具と技 Vol.14」全林協著

② 「林業現場人 道具と技 Vol.15」全林協著

③ 「平成28年版 森林・林業白書（林野庁編）」

④ 「林家が教える 山の手づくりアイデア集」全林協編

⑤ 「「読む」植物図鑑 樹木・野草から森の生活文化まで Vol.3」川尻秀樹著

⑥ 「「読む」植物図鑑 樹木・野草から森の生活文化まで Vol.4」川尻秀樹著

⑦ 「木材とお宝植物で収入を上げる 高齢里山林の林業経営術」津布久隆著

オ 次のようなパンフレット類を制作した。

① 「保安林のしおり」

② 「林業・木材産業改善資金のしおり」

③ 「間伐のしおり」

④ 「森林整備事業のあらまし」

⑤ 「間伐補助制度活用ガイド」

⑥ 「森林経営計画ガイドブック」

⑦ 治山事業、林道事業等のパンフレット

## 2) 展示事業

「長野県戸隠森林植物園森林学習館」及び「長崎県民の森 森林館」の展示物のメンテナンス業務を行った。

また、「森林・林業教育」、「日本の森林シリーズ」、「里山保全シリーズ」、「地球温暖化と森林シリーズ」等のパネルのほか、野外解説版、樹木カード等の野外教材を製作し、販売した。

## 5. 指導・審査事業

SGEC 認証機関である SGS ジャパン社と連携し、その委託を受けて専門審査員（林業普及指導職員 0B）に引き続き協力をいただきながら現地審査を実施した。

これまで本会が審査・認証を行った定期審査が必要な案件については、SGS ジャパン社の認証への移行が完了した。

## 6. 調査研究事業

毎年のスギ花粉の飛散量を予測するためのベースとなる全国のスギ林での花粉雄花着生状況を把握するとともに、ヒノキ花粉の雄花着生量の推定手法の開発を行う「スギ・ヒノキ花粉飛散量推定等推進事業」（林野庁補助事業）を都道府県や関係団体と連携して実施した。

また、林業関係団体の委託を受けて、「林道事業の今後のあり方に関する調査を引き続き実施し、調査報告書を作成した。

## 7. 野外活動推進事業

森林・林業の研修や林業体験活動の場として、東京・高尾に所在する国有林の分収契約のもとで育成している「高尾青年の山」については、ボランティア団体の協力を得て、間伐等を行うとともに、森林環境教育のフィールドとして活用した。

森林の大切さを国民に広く理解してもらうための宿泊研修施設である高尾グリーンセンターについては、引き続きボランティア団体に管理を委託して業務を行った。

## 8. 一般販売・委託事業

森林保険宣伝物品の販売等を行った。

# II 会議、その他

## 1. 理事会

1) 平成 28 年 5 月 16 日 書面による承認決議

- ア) 平成 27 年度事業報告及び収支決算
- イ) 平成 27 年度の公益目的支出計画の実施状況
- 2) 平成 28 年 6 月 2 日 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル
  - ア) 平成 27 年度事業報告及び収支決算について
  - イ) 平成 28 年度事業計画及び収支予算について
  - ウ) 平成 28 年度借入金の最高額決定について
  - エ) 平成 27 年度の公益目的支出計画の実施状況について
  - カ) 役員の業務執行状況について（報告）
  - キ) 役員の改選について
- 3) 平成 29 年 3 月 15 日 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル
  - ア) 平成 29 年度事業計画及び収支予算（案）について
  - イ) 平成 29 年度の通常総会の開催について
  - ウ) 役員の業務執行状況について（報告）
  - エ) 就業規則等の改正について

## 2. 通常総会

平成 28 年 6 月 2 日 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル

- 1) 表彰
  - ア) 第 50 回林業関係広報コンクール入賞者表彰
  - イ) 林業普及指導員永年勤続功労者感謝状贈呈
- 2) 議事
  - ア) 平成 27 年度事業報告及び収支決算について
  - イ) 平成 28 年度事業計画及び収支予算について
  - ウ) 平成 28 年度借入金の最高限度額決定について
  - エ) 平成 27 年度の公益目的支出計画の実施状況について（報告）

## 3. 都道府県協会意見交換会

平成 28 年 10 月 14 日、盛岡市において、東北・北海道ブロック内の道県

協会による協議会が開催され、本会から渡辺専務理事が出席。

次の項目について協議・意見交換が行われた。

- 1) 各道県協会における組織体制、課題と対応策
- 2) 各道県協会における主要事業に関する成果と課題
- 3) 全国林業改良普及協会への要望等

#### 4. 法人改革への対応

平成27年度の決算をもとに、平成28年6月に公益目的財産支出計画実施報告書を内閣府に作成・提出し、受理された。